



きょう かい 教誨あれこれ

全国教誨師連盟広報誌

第4号

平成30年7月発行

公益財団法人 全国教誨師連盟
東京都中野区新井3-37-2

教誨師(きょうかいし)は、
刑務所などに収容されている人との対話を続けています。

医療刑務所における教誨

命の意味を想う～

大阪医療刑務所は、専門的治療や手術を行う病院の機能を持った刑務所です。

ここでは、末期がんや感染症、精神疾患、手術や透析を必要とする方などが、治療を受けています。所長はドクターで、緊急な手術にも対応しておられます。病気が回復し元の刑務所に戻る方もいますが、年間70名前後の方がここで命を閉じられます。

死を前にした方の多くは、自分が重い病気になったのは、犯した罪のせいだと思っておられます。私が教誨した方も、「悪い事をしたから、自分はこんな病気になってしまったんです。もう治るはずがありません、バチが当たったんです。」と嘆かれます。家族や友に看取られることもなく、刑務所の質素な



ベッドサイドで教誨を行う岸本師

ベッドで、孤独に生涯を終えねばならない事は、大きな苦しみであり、魂の痛みです。

しかし、聖書は、病は犯罪の罰として与えられたものではない、と語ります。自分の罪に気づき、罪を認め、一度きりの人生をこのように生きてしまった事を悔い改めて、赦しを頂く時に、実に病は恵みにすらなり得るのです。

ここに価値の大転換が起こります。人生の最後の最後で、自分の生きた命の意味を想う時が与えられるのです。

このように大阪医療刑務所には、死を超えて導かれる神が、確かに生きて働いてくださっている事を感謝して、私は教誨に臨んでいます。

(日本基督教団 大阪医療刑務所教誨師 岸本光子)



大阪医療刑務所庁舎

教誨 Q & A

Q. 刑務所に入ると必ず教誨師と話をしますか？

A. 教誨は被収容者本人が希望した場合に行われます。施設側から特定の教宗派の教誨を強制されることはありません。ただし、施設の矯正プログラムに教誨師が有識者として参加する場合は、希望が無くても教誨師と被収容者が接することがあります。この場合は、特定の教宗派の布教をしたり、信仰を求めたりすることは有りません。

医療刑務所の果たす役割

刑務所は、主として懲役刑等の刑罰を受けた者を収容する施設です。

ただし、被収容者は、法律により行動の自由を制限され、生活全般にわたって様々な制約を受けることから、自己の健康管理や疾病の治療を自身の力だけで行うのは困難です。

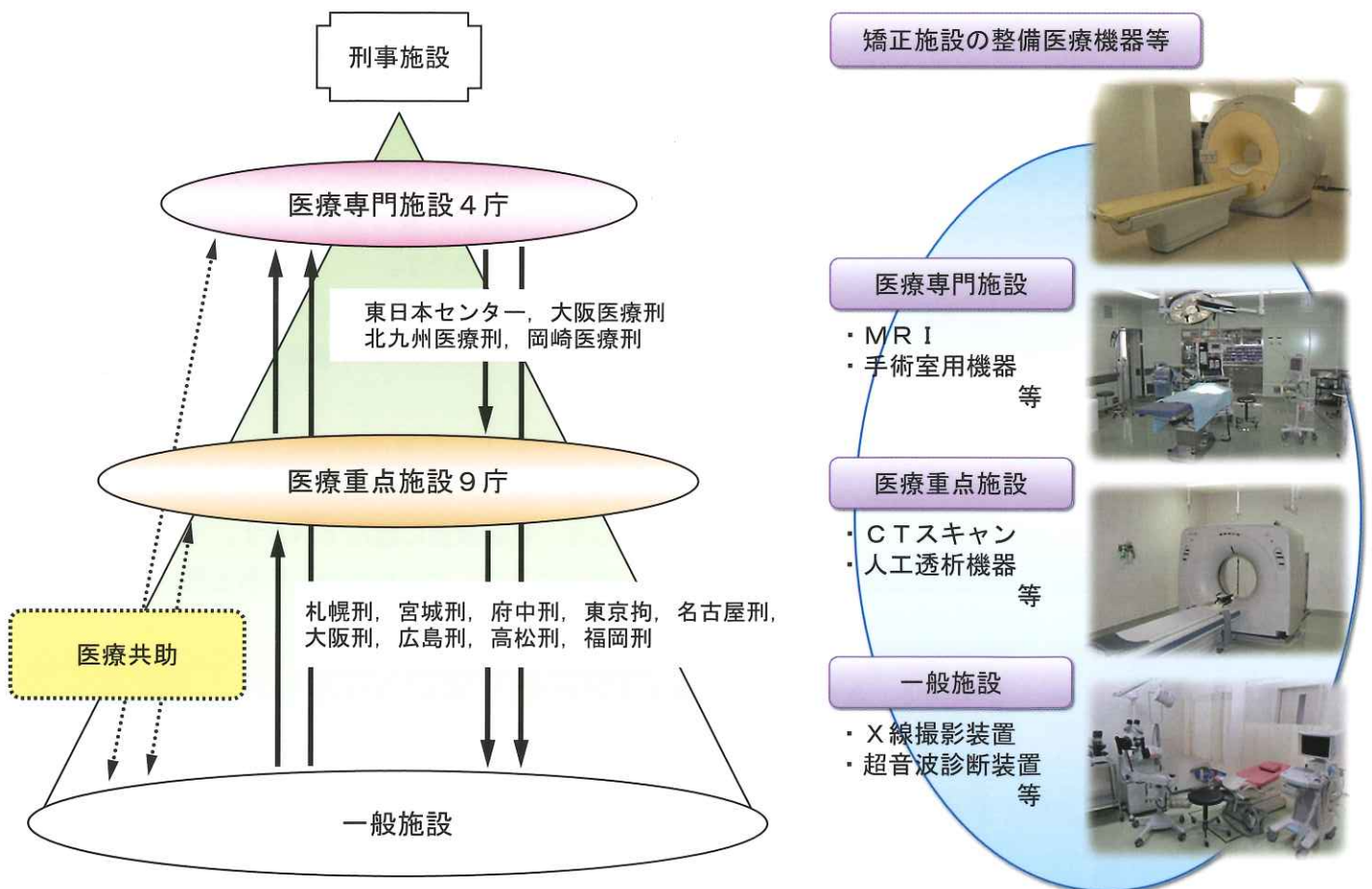
また、刑事収容施設法第56条では、国の責務として、被収容者に対して社会一般の保健衛生及び医療の水準に照らし適切な保健衛生上及び医療上の措置を講ずるものとされ、被収容者の健康管理及び衛生管理の責任を負うことが明確にされています。

そこで、被収容者を対象とした医療が必要になりますが、矯正医療では、精神障害(精神作用物質使用、躁うつ病等)、感染症(ウイルス性肝炎、結核、HIV等)をはじめとして、様々な疾病に対応する必要がありますので、効率的に運用するため、専ら医療上の措置を必要とする被収容者を、医療機器、医療スタッフ等を特に重点的に配置した医療刑務所に収容することとしています。

それが、全国に4つある医療刑務所(東日本成人矯正医療センター、岡崎医療刑務所、大阪医療刑務所、北九州医療刑務所)であり、北九州医療刑務所と岡崎医療刑務所は精神疾患患者を、東日本成人矯正医療センターと大阪医療刑務所は身体疾患患者と精神疾患患者の両方を受け入れ、治療を行っています。

被収容者の医療費は全額国費で賄うことが原則となるので、「犯罪者に対して国民の税金で医療を提供しなければならないのか。」といった声もありますが、被収容者の健康の保持・回復は、被収容者に対する再犯防止のための各種教育・改善指導の実施や職業訓練の基盤を構築するものですし、感染症に罹患している被収容者を適切に治療し、社会復帰後の二次感染を予防することには、公衆衛生上の意義もあることから、矯正医療の要となる医療刑務所の果たす役割は非常に重要なものとなっています。

(法務省矯正局)



東日本成人矯正医療センターの紹介

平成30年1月14日、八王子医療刑務所は、東京都昭島市の国際法務総合センター内に移転し、新たに「東日本成人矯正医療センター」と名称を変え、運営を開始しました。

国際法務総合センターは、東京都昭島市の立川基地跡地に、八王子医療刑務所をはじめ、国連アジア極東犯罪防止研修所・法務総合研究所国際協力部、矯正研修所、公安調査庁研修所、関東医療少年院、神奈川医療少年院、八王子少年鑑別所及び東京婦人補導院を移転集約し、法務省所管施設の複合拠点とすることにより、施設運営の合理化・効率化、資源の有効活用及び地域との共生等を図ることを目的として計画されました。

八王子医療刑務所は、明治11年、神奈川県八王子監獄署として八王子町字元横丁に開庁、同28年に同市子安町に移転、以降123年の長きにわたり、同地において、矯正医療の歴史を刻んできました。しかし、近年における受刑者の高齢化、疾病に罹患し又は覚せい剤等薬物乱用歴のある成人・少年被収容者及び人工透析や特殊な治療を要する被収容者等の増加等に対応するために、医療刑務所及び同少年院の医療機能を統合して医療関係職員及び医療機器等を共有し、物的・人的資源の有効活用を図ることが求められ、新しい地で、新たな歴史をスタートさせることとなりました。

移転に当たっての被収容者の護送に際し、病状に



悪影響を与えずに安全に護送するために、民間の救急車両や車椅子リフト付きの大型バスを手配し、近隣刑事施設から応援職員と護送車両の来援を得るとともに、八王子警察署、昭島警察署及び交通機動警備隊に護送経路上への警察官の配置や各護送車両の交通誘導などの協力をいただきました。

今後も「地域との共生」を旗印に、地域の方々の御理解と御協力をいただきながら、PFI手法により民間企業のノウハウを活用して効率的かつ適正な施設運営を行い、医療を通じた被収容者の改善更生・社会復帰に向けて一致団結し、日々前進して参りたいと思います。
(法務省矯正局)



| | |
|------|---|
| 診療科目 | 内科・外科・精神科・婦人科・ 整形外科・皮膚科・眼科・耳鼻科・ 歯科口腔外科・緩和科・脳神経外科 |
| 病床数 | 445床 |
| 医療設備 | 手術室、臨床検査室、エックス線装置、 調剤所、給食施設、機能訓練室、 ICU、無菌室、CTスキャン、 MRI、滅菌装置、結核病棟など |
| 職員数 | 121名 医師17名、歯科医師1名、 薬剤師5名、臨床検査技師3名、 放射線技師2名、看護師87名、 理学療法士2名、栄養士2名、 臨床工学技士1名、作業療法士2名 |
| 収容定員 | 580名 |

管区通信員だより

雅楽の調べとともに

名古屋管区

荘厳な雅楽の旋律とともに入場。名古屋拘置所宗教教誨「花まつり」の法要のはじまりです。毎年4月のお釈迦様のお誕生日には日蓮宗名古屋宗務所長・教誨師会・声明師会雅楽部の協力をお願いし、笙・篳篥・龍笛の日本古来の音色を奏でて法要を営みます。

荘厳な雅楽の調べは参列者の心に響き、読経・灌仏・焼香と法要が進むに連れて安穏な空気を醸し出します。参列者は一様に素直な心になりお釈迦様のご誕生に心が洗われ、法要を通して自分自身を見つめ直し、新たな未来に立ち向かっていく勇気が生まれてきます。

被收容者の精神的救済を受け止め、心情の安定を

導き、今までのことを省みて、誘惑に負けない生き方を見つけ出せる。そのような教誨を目指しています。（日蓮宗 名古屋拘置所教誨師 加藤通幸）



大谷総裁を迎え盛大に

大阪管区

さる平成29年11月17日、ザ・リッツ・カールトン大阪において「第65回大阪矯正管区教誨師研修大会」が管内教誨師143人はじめ管内施設長、施設職員ら70人が参加して盛大に開催されました。

今研修大会は「教誨活動の研鑽と充実を目指して」を目的として、『未来へ』をメイン・テーマ（全国統一テーマ）に『“出遇い”によって輝くいのち』（大阪矯正管区教誨師連盟テーマ）をサブ・テーマに元東京女子大学学長の船本弘毅氏と元同朋大学学長の中

村薫氏を講師に迎えて開催されました。

また、今回は特に公益財団法人全国教誨師連盟総裁に新しくご就任になった大谷光淳・浄土真宗本願寺派ご門主が出席され、研修会に華を添えられました。

（真宗大谷派 大阪医療刑務所教誨師 墨林 浩）



全国教誨師連盟では、法務省矯正局の管轄区域に習い、全国を8つのブロックに分けています。それぞれのブロックには矯正管区教誨師連盟が置かれています。

札幌管区
仙台管区
名古屋管区
東京管区
大阪管区
高松管区
広島管区
福岡管区

管区通信員だより

尾道刑務支所レポート

広島管区

尾道刑務支所は広島刑務所を本所とする刑務支所です。現在、未決80名を含む365名の受刑者が収容されています。この刑務所の特徴は2つあります。

1つは、高齢の受刑者を集めて収容しています。60歳から最年長89歳までの59人が収容されていて、老人用の施設、つまりバリアフリーの部屋、トイレ、廊下などに手すりやスロープが付けられています。食堂や作業室が居室と同じ階にあたりと歩行困難なものにも対応してあります。もちろん作業も高齢者に適したものとなっています。

2つ目は、尾道の街の沖合約200メートルの向島の有井に民間の造船所で働くための「有井構外泊り込み作業場」があります。いわゆる塀のない刑務所です。グラウンドもあって学校の様に見えます。200メー

ル離れた造船所に通い、一般の人たちと一緒に仕事をします。ここはまさに仕事のための寮となっています。現在は10名以下の収容者ですが、自主自律、自治の生活をしていて、職員は2名しかいません。ここは開設されて以来50年間、逃走などの事故は一度も起こっていないとのこと。

(真宗大谷派 尾道刑務支所教誨師 藤間祐淳)



橋の左が本土、右側が向島です。

本堂での教誨

高松管区

教誨活動と言えば、一般的には刑務所や少年院などで鍵のかかる部屋で行われているというイメージだと思いますが、松山学園では一般的な施設内での教誨のほかに、希望する少年たちにはお寺に来ていただいて行う参禅という活動があります。

具体的には、少年たちに本堂に上がってもらい、まず短いお勤めをし、そのあと講話という形で行います。また最後に少し時間を取って引率の先生方も交えて車座になってお茶とお菓子を頂きながら少しでも話などをします。浄土真宗では座禅を致しませんので参禅というのは誤解を招きそうなのですが、以前からの呼び方なのでそのままにしてあります。多くの少年はお寺の本堂に上がることも初めてで驚いたような顔をしますが、普段と違う環境のせいか穏やかに話ができるような気がします。

また、少年たちが職員の方と一緒に自転車で来られたこともあり、彼らにとっては自立心を高める良い機会になっているのではないかと思います。

(浄土真宗本願寺派 松山学園教誨師 三浦義文)



各地で発生している自然災害により、被害に遭われた皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

公益財団法人 全国教誨師連盟

全国教誨師連盟、全国矯正展に初参加

2018年6月1日・2日、東京都千代田区北の丸公園にある科学技術館で、第60回全国矯正展が開催された。

会場は、「法務行政広報コーナー」「パン・野菜販売コーナー」など多くのブースに分かれ、来場者は各コーナーを巡りながら、法務行政や矯正施設の取り組みについて自然に学ぶことが出来るよう、展示に趣向が凝らされている。

毎年、大勢の人で賑わい、本年は2日間で、約1万5600人が来場した。また売上高は約3200万円にのぼったとのことである。なお、売り上げの一部は、犯罪被害者支援に充てられている。

全国教誨師連盟は、宗教者による教誨活動を来場者に知っていただくこと、本年初めて法務行政広報コーナーに出展し、「教誨あれこれ」「全国教誨師連盟のごあんない」を配布した。普段は施設内で被収

容者を相手に活動をしている教誨師にとって、一般の方に直接、教誨の活動を伝えるよい機会となった。

上記のものを配布する際、「こういう活動があるんだ」とつぶやきながら去っていく方、ビラに書いてある「教誨」という文字を目にされ「こういう言葉があるんですか」と小さくつぶやいた方もおり、まだまだ「教誨」「教誨師」の言葉が認知されていないと強く感じた瞬間であった。一方、熱心に私達のブースを訪れる20歳ぐらいの男女のグループもあった。聞いてみたところ、刑事政策を学んでいる大学生、BBSの活動に従事している大学生であった。いろいろな人に会い、社会における教誨師の位置づけや、業務の位置づけについて考えさせられる一日であった。

(真宗大谷派 川越少年刑務所教誨師 嵩 海史)



皆様の気持ちを形にして!!

全国教誨師連盟は教誨師に対する研修を中心とした諸活動を行っています。

教誨師は「1対1」または「1対多」の関係で活動しています。他の教誨師の活動状況を知る機会がないと、教誨師自身は納得しているが教誨の対象者である被収容者に伝わらない、独善的な教誨の実施に陥りやすいものです。そのため全国教誨師連盟では、毎年全国9か所で教誨師研修を開催しています。それによって、良質な教誨が行われ、被収容者の人間性の回復、慈悲心の醸成が図られます。また、結果的に再犯の防止につながり、安心・安全な社会の実現に貢献しているのです。

当連盟は国からの補助金等はなく、ボランティアとして活動している教誨師からの参加費の徴収と当連盟の活動に賛同をいただいている一部の宗教団体や企業からの寄付金により賄われています。

当連盟は内閣総理大臣から特定公益増進法人としての認定を受けた公益財団法人であり、また、所得税の特別控除対象法人となっていますので、当連盟への寄附金の4割近くが還付されます。皆様からの温かいご支援をお待ちします。

矯正図書館

昨年、開設50周年を迎えた矯正図書館は、矯正を中心とした刑事政策分野に加え、社会学、社会福祉学、教育学、心理学、精神医学等周辺領域まで及び11万8千冊の蔵書数を誇り、矯正（行刑）に関連する専門図書館として確固たる地位を築いている。また、図書以外にも、江戸期・明治期を始めとする古文書や視聴覚資料などを所蔵し、学術上貴重な文献等も多く含まれている。

教誨師関係では、明治26年に真宗大谷派が開催した教誨師養成のための「教導講習会」において配布したと思われる「教誨師袷袋」も収蔵されている。

矯正図書館は旧中野刑務所の一角にある矯正会館の3階に設置されており、閲覧室は広く落ち着き、また、文献検索は図書館設置のパソコンで容易に行うことができ、研究者にとってはまたとない良環境と言える。

利用者は、矯正施設の職員はもちろん、専門分野の研究者や学生、司法、福祉、報道、出版関係者など多岐にわたっている。もちろん、教誨に関する文

献も多く、少なからぬ教誨師がこの図書館を利用している。

殊にインターネットの活用には力を入れており、ウェブOPACにはカート機能を備え、夜間・休館日にかかわらず、いつでも複写が依頼できるようにしてあることは、遠方で、来館できない方にとっては強力な味方になってくれている。

ホームページには、詳細な利用案内が掲載されている。矯正図書館のことがよく分かる動画もあるので、一度ご覧いただくことをお勧めする。

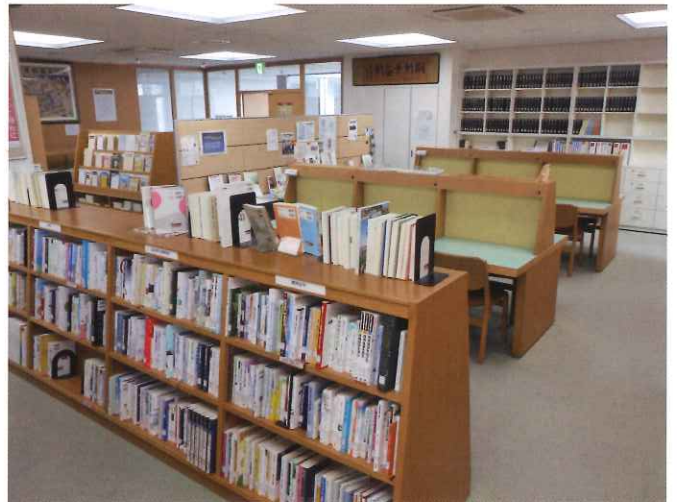
先の「教誨師袷袋」は全国教誨師連盟の会員が提供したこともあり、図書館利用についてはもちろん、貴重な史料の寄贈を含め、様々な問い合わせに気軽に応じるとのことである。

矯正図書館ホームページ

<http://www.jca-library.jp/>



教誨師袷袋



矯正図書館 閲覧室



「東京集治監囚徒動作之圖」(明治28年発行)の『監房教誨ノ圖』

ありがとうございました

根岸千恵子師は、平成29年8月29日、教誨事業功労者表彰式典において、法務大臣表彰を受けられました。

この度、法務大臣上川陽子様より、多くのご来賓の皆様のご臨席のもと、思いがけずも表彰の栄に浴しましたことは誠にうれしく、ありがたいことと感謝をしております。

顧みますと、神社本庁より教誨師として拝命してから、早くも21年目を迎えることになりました。

思えば、私にはこのような役をお受けするような器は全くなく、再々お断りしましたが、当時、保護司を永く勤めておりました母に、これからの宗教人は「世の為、人の為に」尽くしてあげる必要があるのでは、と言われました。心配・不安・ためらいが続く中、母が再度、悩んでいる私に「女性だから・母親だから・・・親心で真剣に取り組めるお仕事よ」と背中を押してくれたのです。その時の思い切った決断が、今ではよい学びの場であるかのように思われます。年月を重ねる度に、教誨の難しさを感じながらも地道にその仕事に精励して参りたく存じます。

さて、教誨実践では、全く質問に応じてくれなかった被収容者(少年)が、一対一の話し合いの中で、面接の回数を重ねるうち、過去のつまずきや失敗を反省し、次のステップに自ら立ち向かっていこうと頑張っている姿、又、次第に自信を取り戻し大きな声で話し掛けてくれるように態度が変わり、少年自身が物事を冷静に判断できるようになった等、教誨師



として何よりもうれしく感じます。

個人宗教教誨のあり方・方法が少しは改善・更生になっているのだろうか心配しながらも、期待と一時的な安堵感を覚えます。宗教的な「心の教え」を説きながら、即効性は期待しないで、永い目で見えあげようと、気を取り戻すことも暫しあります。少年の前では、母心・親心の思いの温かい気持ちで、心の底をよく聞き、一心同体を深め、そして常に一定の距離を保ちながら本音で話し合い、より信頼し、認め合い、励まし合い、生きた対話ができるよう心掛けていきたいものです。

最後に、少年からよく聞くことは、「少年院という集団の場では、此処まで何とか頑張れた」「でも、社会はこわい」という言葉です。このように社会復帰後の不安は消えません。これに備えての「心の改善」はどのように図っていけばよいか難しい問題です。罪を犯した人々の改善・更生にこれからも献身的な気持ちで携って参りたいと存じます。

(神社本庁 神奈川医療少年院教誨師 根岸千恵子)

編集後記

現在、矯正施設では多くの教育活動が行われています。その中でも、宗教教誨は被収容者の更生に極めて大きな役割を果たしております。しかし、社会的に教誨についての理解が充分深まっているとは思えません。そこで、我々教誨師は「教誨あれこれ」等を通じ、一般の方々にも教誨活動を理解して戴き、被収容者の改善・更生を目指している教誨活動の充実を図っております。宜しくご理解ご協力をお願いいたします。

(広報委員 中川)

全国教誨師連盟は皆さまからのご寄付により運営されております

犯罪者や非行少年等の改善と更生のために活動している教誨師にご理解とご支援をお願いします。

寄附金受付口座(郵便振替) 00130-4-46544

公益財団法人 全国教誨師連盟 TEL 03(3389)7411